

Pioneering EV Therapeutics — Creating the Future of Medicine



アトピー性皮膚炎治療薬（**EXP01-AD**）紹介

皮膚バリア再建をもたらす
間葉系幹細胞由来EV(MSC-EV)治療薬候補

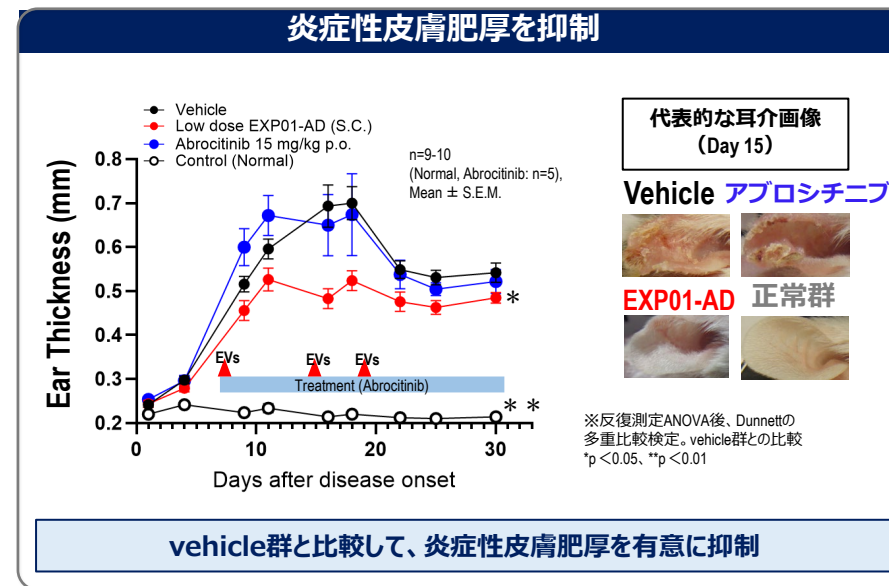
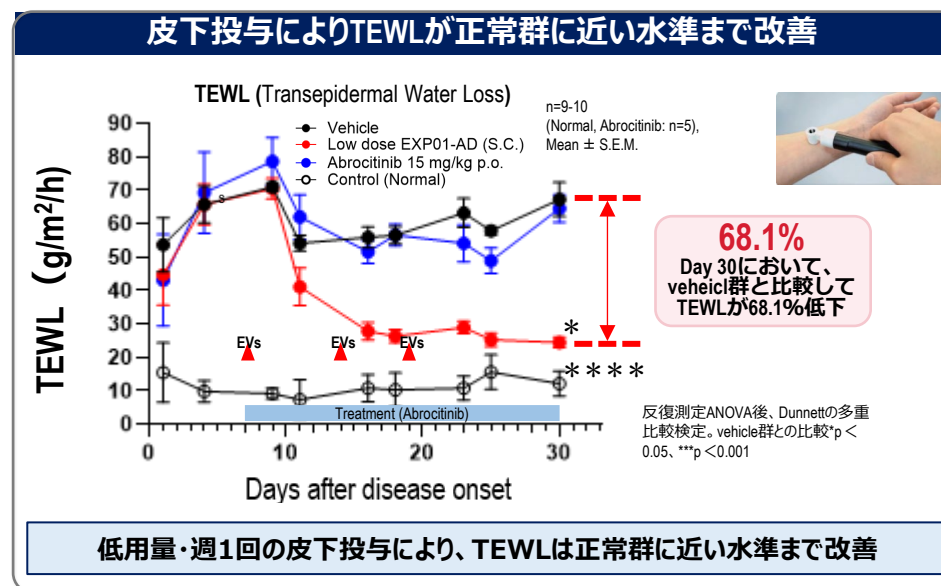
株式会社EXORPHIA

EXP01-AD：低用量・週1回皮下投与PoCを取得 皮下投与をリードプログラムに設定

EXORPHIAは、特許出願、力価との関連を評価中のQCマーカー候補、EV製造・精製およびCMC/QC基盤を備え、天然型・改変型EV治療薬を開発しています。

2026年のアップデート

- 新たな全身投与PoC：従来の非臨床検討用量の1/100を週1回皮下投与。
- TEWL（皮膚バリア機能）は正常群に近い水準まで改善し、炎症性皮膚肥厚を有意に抑制。
- 低用量外用PoCは、補完的な局所治療オプションとして維持。



開発の優先順位

リードプログラム

皮下投与 | 週1回

全身治療薬候補。次のトランスレーショナル・IND-enablingパッケージを優先。

開発オプション

外用 | 1日1回

局所治療オプション。提携方針と必要データに応じて段階的に開発。

今提携する意義

候補・開発計画が固まる前に、全身投与TPP、MoA/標的関与、トランスレーショナルバイオマーカー、IND-enabling計画を共同設計できます。

提携機会

非臨床段階でのグローバル／地域別ライセンスまたは共同開発。外用はオプションとして組み込み可能です。

皮下・外用の両経路で低用量PoCを確認

重症ADマウスモデルで評価し、アブロシチニブ経口投与群を設定。

リードプログラム

従来量の1/100 | 週1回皮下投与

68.1% Day 30のTEWL
vehicle群比低下

- TEWLは正常群に近い水準まで改善。
- 炎症性皮膚肥厚を有意に抑制。
- 痒みに対する抑制傾向を確認。

開発オプション

従来量の1/100 | 1日1回外用

25℃・2か月

保管した試験品を使用

- TEWLは正常群に近い水準まで改善。
- 総臨床スコアAUCをvehicle群より有意に改善。
- 痒みに対する抑制傾向を確認。

探索的忍容性評価：

評価条件下で、体重減少または胸腺重量低下（免疫抑制）は認められていない。

次のリスク低減項目

MoA／標的関与 | 皮膚分布 | ヒト外挿性・バイオマーカー | 開発候補・IND-enablingパッケージ

本資料の結果はすべて非臨床です。臨床での有効性・安全性は確立していません。TEWL：経皮水分蒸散量。